

一般社団法人静岡県測量設計業協会
平成30年度定時総会議事録

日 時 平成30年5月15日(火)午後2時30分から午後4時30分まで

場 所 クーポール会館 3階 弥生

出席者数 会員総数62名、出席者数49名、外委任状11名、欠席2名

出席した理事 杉山博、藤山義修、大鐘祥太郎、鈴木達美、亀谷寧一
近藤拓己、小澤和宏、山村卓道、宮島直久、桑原 篤

出席した監事 吉田英司、鍋田昌吾

会 議

司会者 鈴木達美副会長が、定款第18条第1項の規定により出席者数を発表し、総会が成立していることを報告した。

1. 開会の辞 藤山義修副会長が開会の辞を述べた。

2. 会長挨拶 杉山博会長が挨拶を述べた。

3. 会長表彰

杉山博会長より、永年勤続企業職員会長表彰受賞者17名を代表して、(株)フジヤマの小杉泰裕様に表彰状と記念品を贈呈した。続いて、小杉泰裕様から謝辞があった。

4. 来賓祝辞

司会者は、来賓の衆議院議員井林辰憲様秘書山岸浩二様、参議院議員岩井茂樹様秘書吉田能江様、静岡県交通基盤部理事 長縄知行様を紹介するとともに、衆議院議員井林辰憲様、参議院議員岩井茂樹様、参議院議員足立敏之様からのお祝いのメッセージを披露した。

続いて、静岡県交通基盤部理事 長縄知行様が祝辞を述べた。

5. 議長選出

定款第16条の規定により、司会者が議長選出について諮ったところ、司会者に一任されたので、司会者は議長に杉本洋氏を選出した。

6. 議事録署名人選出

議長より、定款第19条第2項の議事録署名人の選出方法について総会出席者に諮ったところ、議長に一任されたので、議長は、議事録署名人に服部剛明氏、奥平慎太郎氏を選出した。

7. 議事

(1) 第1号議案 平成29年度事業報告について

(2) 第2号議案 平成29年度収支計算書及び監査報告について

関連する上記(1)(2)を一括上程した。

平成29年度事業報告については、桑原篤事務局長が定時総会、理事会、監査、入会及び退会者、要望活動等、総務委員会、倫理委員会、積算システム運営委員会、他団体への講師派遣、他団体等が主催する講習会等への参加、(一社)全国測量設計業協会連合会事業、(一社)全測連・中部地区協議会事業、(一社)静岡県建設産業団体連合会事業、慶弔費を説明した。

広報・経営改善委員会は小澤和宏委員長が、企画委員会は近藤拓己委員長が、技術委員会は亀谷寧一委員長が、調査委員会は宮島直久委員長が、災害対策委員会は山村卓道委員長が説明した。

平成29年度収支計算書について、桑原篤事務局長が説明した。

収支計算書については、主な科目の予算額、決算額、差異額を、貸借対照表については、主な科目の当年度額、前年度額、増減額を、財務諸表に対する注記については当期末残高を、正味財産増減計算書については、主な科目の当年度額、前年度額、増減額を、財産目録については、主な科目の金額を説明した。

監査報告について、吉田英司監事と鍋田芳久監事が監査報告書どおり適性であると報告した。

以上の説明及び報告を受け、議長より、総会出席者に質問を求めたところ特に質問もなく、賛成の挙手を求め、満場異議なく原案どおり可決された。

(3)第3号議案 平成30年度事業計画(案)について

(4)第4号議案 平成30年度収支予算書(案)について

関連する上記(3)(4)を一括上程し、桑原篤事務局長が説明した。

平成30年度事業計画(案)と平成29年度事業計画の違いは、平成29年度に合同事務所が設置されたため、1.総務委員会(3)の「合同事務所の設置」を「合同事務所の運営」に変えたことであると説明した。

平成30年度収支予算書(案)については、主な科目の予算額、前年度予算額、増減額を説明した。また、「平成29年度各委員会決算並びに30年度予算」については、各委員会の実績及び予算を費目別に内訳を示し、会員に分かりやすくしたものであることを説明した。

議長より、総会出席者に質問を求めたところ特に質問もなく、賛成の挙手を求め、満場異議なく原案どおり可決した。

(5)第5号議案 役員の改選について

議長より、理事候補及び監事候補は各支部から推薦されており、総会出席者に候補者を発表してよいか諮ったところ、議長一任で賛同を得た。

議長は以下のとおり発表した。

理事候補

東部支部から、鈴木達美氏、小澤和宏氏、鈴木正明氏

中部支部から、山村卓道氏、亀谷寧一氏、松井藤雄氏
西部支部から、藤山義修氏、近藤拓己氏、宮島直久
協会事務局長の望月良明氏 以上10名。

監事候補

監事に中部支部から鶴田忠男氏、会員外から公認会計士の鍋田昌吾氏の2名。
議長は、定款第18条第3項の規定により、決議について以下のとおり説明した。

理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに決議を行わなければならないが、総会出席者の賛成があれば、候補者全員を一括して決議できるとされている。議長が、一括決議に対し出席者に異議の有無を求めたところ、異議もないため、総会出席者に賛成の挙手を求め、賛同を得たので一括決議となった。

議長が、改めて理事候補及び監事候補を理事及び監事に選任することについて、総会出席者に諮り、賛成の挙手を求め、満場異議なく議長発表どおり可決された。

議長は、定款第21条第2項の規定により、会長、副会長及び専務理事は理事会で選定することになっているため、理事会の開催を要請し、暫時休憩を宣言した。(別室で理事会が開催された。)

議長は、理事会が終了したので、総会を再開し、会長に理事会結果の発表を求めた。藤山義修会長は次のように発表した。(議長の了解を得て、印刷物「平成30年度役員名簿」、「平成30年度事業委員会の所管事項及び委員会委員名」を総会出席者に配布した。)

| | |
|---------------------------------|---------|
| 理 事 会 長 | 藤 山 義 修 |
| 理 事 副 会 長・会 計 担 当 理 事 | 鈴 木 達 美 |
| 理 事 副 会 長 | 山 村 卓 道 |
| 理 事 副 会 長 | 宮 島 直 久 |
| 専 務 理 事 | 望 月 良 明 |
| 理 事 総 務 委 員 会 委 員 長 | 藤 山 義 修 |
| 理 事 広 報・経 営 改 善 委 員 会 委 員 長 | 小 澤 和 宏 |
| 理 事 企 画 委 員 会 委 員 長 | 近 藤 拓 己 |
| 理 事 技 術 委 員 会 委 員 長 | 亀 谷 寧 一 |
| 理 事 調 査 委 員 会 委 員 長 | 鈴 木 正 明 |
| 理 事 災 害 対 策 委 員 会 委 員 長 | 松 井 藤 雄 |
| 理 事 倫 理 委 員 会 委 員 長 | 鈴 木 達 美 |
| 理 事 積 算 シ ス テ ム 運 営 委 員 会 委 員 長 | 藤 山 義 修 |

藤山義修会長は、新役員と退任する杉山博氏、大鐘祥太郎氏、桑原篤氏を紹介した。

藤山義修会長から相談役を杉山博氏に委嘱すると発表があった。各委員は配布物のとおりで、後日会長が委嘱する。

付帯決議(案)

議長は、付帯決議(案)について、執行部に説明を求めた。

桑原篤前事務局長が付帯決議(案)を朗読し、満場一致で原案どおり可決した。

議長は、全議案の審議を終了したので、協力に感謝すると挨拶を述べ降壇した。

8. 閉会の辞

大鐘祥太郎前副会長が閉会の辞を述べ、午後4時30分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が記名押印する。

平成30年5月15日

議 長 杉 本 洋 ⑩

議事録署名人 服 部 剛 明 ⑩

議事録署名人 奥 平 慎太郎 ⑩